

土砂崩れの復旧作業（生駒山）



問 新型コロナウイルスワクチン接種を希望する全ての市民に対して、迅速に

接種していただけるよう、今以上の体制強化が必要であると考える。高齢者のワクチン接種希望者の中には、集団接種会場での予約において、電話がつかず、ウエブ予約もできずに、一人で悩む方、諦める方がいると推察する。希望者を誰ひとり取り残すことのないよう具体的な対策を検討されているのか。また今後、接種券が発送される16歳から64歳までの人口は約29万人とのことで、今まで以上に予約に混乱が生じないかと心配している。例えば、今までもおり、年代別に予約期間を設けたり、LINEから予約システムにアクセスできるようにすること、また、地域医療、地域社会の維持に関して重要な役割を担っているエッセンシャルワーカーなどの職種の方々に優先接種を行うこと

# 会派の主張

（本会議の質問など）

三面から六面の内容は各会派が責任をもって掲載しています。

## 自由民主党

個人質問 谷口 勝司

**緊急!!土砂災害から命を守る!今すぐ危険箇所の調査を!!**  
**ワクチン希望者を誰ひとり取り残さない体制の構築を!!**

問 生駒山地は断層により、私たちの住む東大阪市側で傾斜が急になっている傾動地塊として知られている。最近の線状降水帯による大雨や台風による被害は年々ひどくなっており、昨年も生駒山麓で崩落があった。不安の声が高まる中、土砂災害のハード面の対策が、

目に見える形で進んでいない現実があると感じている。市民の生命と財産を守るためにも、いま一度、傾斜地や土砂災害の懸念のある箇所を調査し、早急に対応すべきであると考えるがどうか。土木部長 これまで大阪府が事業主体となり、善根寺町地区で2か所、山手町地区で1か所の合計3か所、急傾斜地崩壊対策工事を実施している。相次ぐ土砂災害を踏まえ、工事採択基準を満たさず区域については、今後とも積極的に事業実施に向けた要望を行っていく。

接種していただけるよう、今以上の体制強化が必要であると考える。高齢者のワクチン接種希望者の中には、集団接種会場での予約において、電話がつかず、ウエブ予約もできずに、一人で悩む方、諦める方がいると推察する。希望者を誰ひとり取り残すことのないよう具体的な対策を検討されているのか。また今後、接種券が発送される16歳から64歳までの人口は約29万人とのことで、今まで以上に予約に混乱が生じないかと心配している。例えば、今までもおり、年代別に予約期間を設けたり、LINEから予約システムにアクセスできるようにすること、また、地域医療、地域社会の維持に関して重要な役割を担っているエッセンシャルワーカーなどの職種の方々に優先接種を行うこと

など、さらなる工夫が必要だと考えるが、今後どのように取り組むのか。健康部長 高齢者の接種希望者への対策については、6月以降、コールセンターの回線数を倍増するなど対策を講じたが、集団接種の拡充及び個別接種を促進することで、予約枠数の増加に取り組み、希望者へワクチンが行き渡るよう努める。また、エッセンシャルワーカーへの対応については、現在、様々な手法について検討、課題整理を行い、関係部局と調整していく。

ただいた。大前提として、日本では、鳥獣保護管理法によって、野生鳥獣の捕獲・殺傷が禁止されていることから、府の管理計画では、イノシシは、適切な頭数を維持し、人との永続的な共存を図るとなっている。被害を防ぎ、共存も図る手段として、捕獲を行うことに加えて、先の侵入防止用のネット敷設などの情報を市民の皆様にも周知することも、市内の鳥獣被害対策として重要だと思っております。理事 イノシシを農地や住居に侵入させないよう、有効な対策事例などを市のウエブサイトに掲載するとともに、関係団体とも協同して啓発、発信に努めていく。

## 公明党

個人質問 十鳥 雅雄

個人質問 馬場 徳子

**ワクチン接種を経済活性の追い風に!!**  
**つながり支えあう東大阪の構築を!!**

問 厚生労働省からは、通所施設や訪問介護など、高

年齢者施設等の従事者として扱うことや、障がい者や在宅の医療ケア児者など自力で外出できない人へ、訪問

診療を活用し接種をおこなう、また訪問介護に携わる方や同居家族についての接

(次頁につづく)